

鮫浦湾ホヤ幼生調査報告（第2報）

実施主体 宮城県漁業協同組合谷川支所養殖組合
 協力機関 東北大学マリンサイエンス復興支援室
 宮城県東部地方振興事務所水産漁港部
 宮城県水産技術総合センター

◆ホヤ幼生の出現状況調査内容

日 時：12月8日 11:00～14:00（検鏡 12:30～14:00）

天 候：晴れ

調査員：谷川支所養殖組合（渥美 義悦，渥美 英俊，木村 忠芳，馬場 伸一，石森 旦）

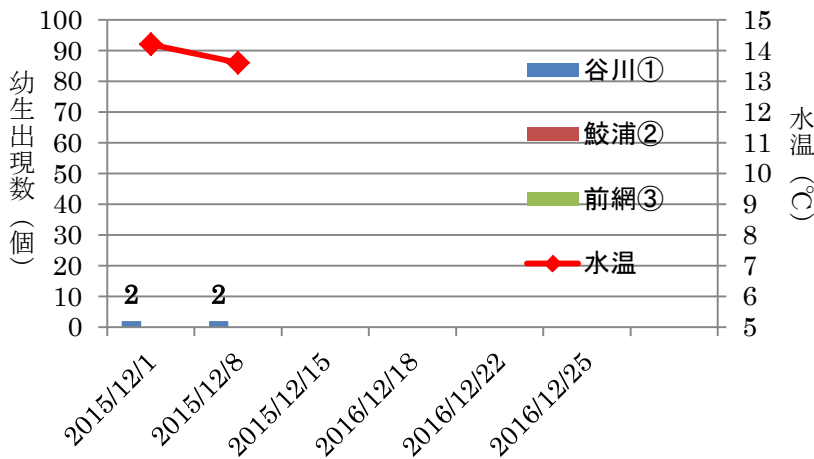
【概況】

1. 鮫浦湾の表面水温は全調査点とも 13.6℃でした。
2. マボヤ幼生の出現状況は、谷川の調査点の2個のみでした。
3. また、ユウレイボヤと思われる幼生が4～17個見られました。

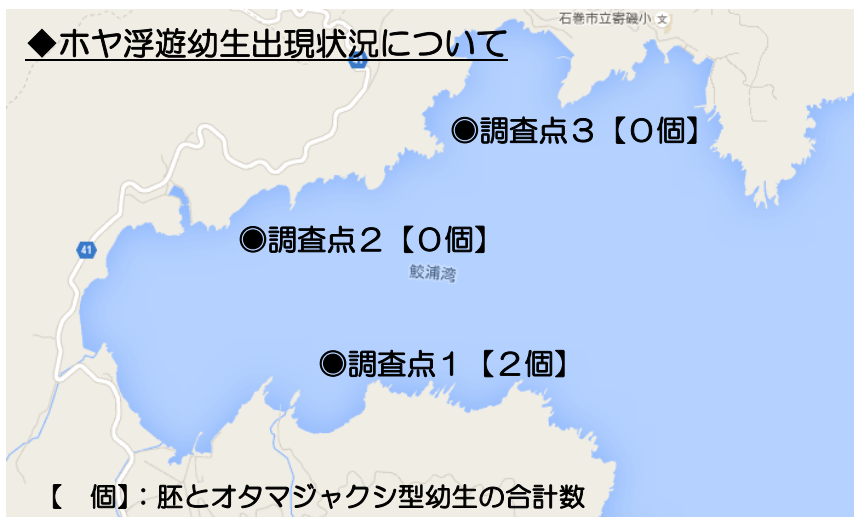
調査点	表面水温 (°C)	ネット曳網距離 (m)	胚(孵化前)・浮遊幼生数(個)			(備考欄)
			胚(孵化前)	浮遊幼生	合計	
1 谷川	13.6	20	0	2	2	その他ホヤ幼生17
2 鮫浦	13.6	14	0	0	0	その他ホヤ幼生10
3 前網	13.6	8	0	0	0	その他ホヤ幼生4

※プランクトンネットは鉛直曳き2回

◆ホヤ浮遊幼生出現数推移



◆ホヤ浮遊幼生出現状況について



【検鏡の様子】

- ② 顕微鏡を見ながら、マボヤ幼生を探しています。



- ① このシャーレの海水の中に...



- ③ マボヤ幼生発見！（オタマジャクシ型）

